

(発行)

石川県高次脳機能障害相談・支援センター

石川県金沢市赤土町ニ13-1

石川県リハビリテーションセンター内

電話 076-266-2188

# 石川県 高次脳機能障害相談・支援センターニュース

## はじめに

平成24年4月をもって高次脳機能障害相談・支援センターは開設から5年が経ちます。最近の相談の傾向としては、就学・就労に関するご相談が増えてきており、ご本人・ご家族からはもちろん、入院中に医療機関からの紹介により当センターにつながるケースも増えてきています。全国的にも就学・就労支援は大きな課題となっており、今後も関係機関の方々とは連携させていただきながら支援していきたいと考えております。今後とも何卒よろしく願いいたします。



## 事業報告

今年度も当センターでは家族教室をはじめ、高次脳機能障害の普及啓発のための研修会等を開催いたしましたので、その様子をご紹介します。

### 【家族教室】

障害の理解や就労、使える社会資源等についてをテーマに全6回にわたり開催いたしました。講義の後には、それぞれ日々の生活の中で疑問に感じていることなどについて講師に質問が挙がったり、また家族会の方々をはじめ、他のご家族からも「うちはこうだった」とお話をいただいたりと情報交換の機会ともなりました。

### 【普及啓発研修会】

講師：全国柔道事故被害者の会 小林 恵子 氏

小林さんは、お子さんが学生時代に柔道事故に遇われ、その後遺症から高次脳機能障害と診断を受けられました。友人やご家族からの根気強い支えを受けながらリハビリに取り組み、特に就労に向けては職場の協力を得ながら、話し合いや調整を重ね頑張ってきたそうです。まずはご家族の心が安定していること、人とのつながりや希望を持ち続けること、本人に対してはできたことは十分に誉め、一緒に喜ぶことの大切さについてお話がありました。

当日は60名の参加があり、障害受容に関する質問などがフロアから寄せられました。

高次脳機能障害は代償手段をもって障害を補っていかねばならず「本人、家族が障害を受け止められていないとリハビリの効果はない。息子は受容して周囲に「助けて」と言えるようになったから働けました。家族や支援者は時間をかけて本人と向かい合うことが必要でしょう」との助言をいただきました。



## 生活支援教室

毎週水曜日の10時から15時に、リハビリテーションセンターとなりの「ほっとあんしんの家」で生活支援教室を開催しています。現在参加者は約10名です。教室では一人一人に適した社会参加を支援することを目的としており、教室を卒業して復職に向けて次のステップを踏み出された方もいらっしゃいます。今年度は、参加者のみなさんに行事を企画してもらい、役割分担しながら各グループで運営をしてもらいました。試行錯誤しながらも皆でアイデアを出し合い、自分たちで作り上げていくことの達成感を持っていただけたかと思います。その一部ですが活動の様子をご紹介します。

風船バレー



それっ！

この日のために  
特訓したよ！



クリスマス会で  
手品を披露

バス時間や昼食場所  
など自分達で調べま  
した。大変だったけ  
ど企画から取り組め  
てよかった！

ティッシュカバーなど  
各自のセンスで物作り



タイルモザイクで  
教室の看板を作りました！

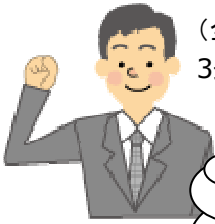


## 当事者の声

高次脳機能障害を持たれた方の中には「就職」「復職」を目標とされている方もいらっしゃるかと思います。今回は、復職に向けて訓練を受けておられる当事者の方から、その訓練の様子や復職に向けての思いを聞かせていただきました。

### Aさん（40代 現在休職中） にインタビュー♪

（全16週間の訓練のうち  
3週目時点での感想です）



訓練機関：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
障害者職業総合センター職業センター（千葉県）

復職や就職に向けて障害の自己理解を促し、障害を補完する方法を獲得するために個別相談・作業課題・グループワークを関連づけた支援を行っています。例えば、記憶障害があるために仕事の手順を覚えにくい場合、手順を記載したメモを見て単独で作業ができるような取り組みをしています。併せて事業主に対して受け入れ準備に関する支援も行っています。

問い合わせ窓口：最寄りの障害者職業センター  
（こちらでも職業評価・訓練を行っています）

Q. どのような訓練をしているのですか？

A. パソコン入力やピッキングなどの作業の他、脳トレなどもしています。課題等を毎日手帳に書き込み、終わったチェックするというように、自分で予定を管理する練習もしています。

Q. 訓練の中で感じることは？

A. 簡単な指示をこなせないことも多く悔しいです。また、指示の言い回しが違ってくると戸惑います。自分は聞いたことをメモにすることが難しいので、特にその点が訓練によって身につくかが心配です。

Q. どんな生活をしているのですか？

A. 宿舎を利用しています。トイレ・風呂付きの個室で、有料ですが食事もあるため、まるでビジネスホテルのようです。服薬の声かけもしてくれるので安心です。自由時間もあり週末は近くのショッピングセンターへ買い物に出かけていますが、近くに住んでいる友人にも連絡をとってみたいと思っています。

Q. 他の受講者と交流はありますか？

A. 作業中は特に会話はありませんが、食事の時などには互いの出身地のことなど世間話もします。

Q. 復職に対する思いを聞かせてください。

A. 訓練をやればやるほど悔しい思いが湧きますし、訓練が役に立つのだろうかという不安もあります。しかし、できるところまで頑張りたいです。





## 高次脳機能障害患者と家族の会 つばさ からのお知らせ

長かった冬が過ぎ、ようやく春の兆しが見られるようになりました。今年度も終わりに近づいた先日、家族会つばさで料理教室を行いました！講師に管理栄養士の石黒祐子さんをお招きし、楽しい場となりました。初めて料理を作った？という方もいました！皆さんとってもいい笑顔でした。

今年度は当事者さんと共に楽しめることを企画していきたいと思っておりますので、皆さんにもお知らせしますので、どんどん参加してくださいね！

♪今後の予定♪

4月15日（日）家族会定例会  
午後2時より  
ほっとあんしんの家



<連絡先>

Tel 076-261-2324 向江まで  
mail tsubasa@m2.spacelan.ne.jp

## 石川県高次脳機能障害相談・支援センターの案内

石川県高次脳機能障害相談・支援センターでは、「相談は傾聴、親身、親切に」をモットーに、高次脳機能障害に関する相談を随時受け付けております。

何かお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

〒920-0353 石川県金沢市赤土町ニ13-1

石川県リハビリテーションセンター内

(石川県済生会金沢病院となり)

電話 076-266-2188 ファックス 076-266-2864

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/koujinou/>

電話相談：月～金曜日 8時30分～17時15分

土曜日 8時30分～12時30分

面接相談：月～金曜日 8時30分～17時15分

(予約制)

(相談担当) 田中 豊島 加納

